

指導日時・教室 平成21年11月26日(木) 1限目 教室名 22H
 対象生徒・集団 総合学科 2年(次)生 103人(内訳22H 31人)
 科目名 家庭総合(単位数 2)
 使用教科書 新家庭総合(出版社名 実教出版)

1 単元名 子供の発達と保育・福祉

2 単元の目標

- ・乳幼児の心身の発達の特徴に興味を持ち、発達段階や個性に応じて、親や家族が子どもとどのようにかかわったらよいかなど、保育の在り方について関心を持つ。 【関心・意欲・態度】
- ・乳幼児の生活や親の役割などについて課題を見付け、原因や解決策について考える。 【思考・判断】
- ・事例研究や実践的な学習を通して、適切に乳幼児とかかわることができたり、子どもの健全な発達を支えたりするために必要な基礎的・基本的な技術を身に付ける。 【技能・表現】
- ・乳幼児の心身の発達と生活について理解し、子どもの健全な発達を支える親や社会の果たす役割を認識する。 【知識・理解】

3 指導に当たって

(1) 生徒観

中学時代に技術・家庭科や総合的な学習の時間等で保育に関する学習をしているはずである。しかし、アンケート結果からは学習内容の定着にかなり偏りがあるように思われる。また、自分が親になる不安やどのようにかかわっていったらよいかのイメージを持ってないなどの回答も見られた。

一方、乳幼児をかわいいと感じる生徒や、乳幼児の心身の発達や生活について興味を持っている生徒も多数存在する。

家庭科にかかわらず、学習に対して中学校まで苦手意識が強かった生徒も多いが、本校入学以来、丁寧な指導や教師とのかかわりによって自信をつけ始め、意欲的に取り組むようになって来ている。

(2) 教材観・指導観

単元の導入では、視聴覚教材や保育人形などを効果的に利用し、保育への興味・関心を高めたい。また、乳幼児の生活や親の役割については、子どもや保育を身近なものと感じるような事例やロールプレイングなどの手法を用い、問題解決型の授業展開を行うことで実際の子どものかかわり方や子育てを取り巻く問題に対処する力をつけたい。さらに、児童福祉などの理念を理解については生徒自身が気づき、納得するような資料や教材を使うことで知識を定着させたいと考えている。

将来の子育てに不安を持つ生徒も多いが、「子育てって楽しそう」「子どもってかわいい」と子供や保育に興味を持ち、「これなら自分にもできる」という自信や希望の持てる授業展開を考えていきたい。

4 単元の指導計画(総時数10時間)

第一次 生命の誕生(1時間)

第二次 乳幼児の心身の発達(3時間)

第三次 子どもの生活を知る(3時間)

第四次 すべての子どもが健やかに育つために(3時間)

1時 出産・子育てのための社会支援

2時 子育てをめぐる問題点

3時 子どもが健やかに育つ社会・・・本時

5 本時の指導と評価の計画(第四次 第3時)

(1) 本時のねらい

①子育て支援のために必要なことについて考えを深める。

【思考・判断】

②子どもの権利条約の理念を理解する。

【知識・理解】

(2) 準備・資料等 授業プリント・パソコン・プロジェクター・ダイヤモンドランキング用パネル

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
5分	世界の子どもたち	プリントの説明文を読み、それがどこの国の子どもについて書かれたものかを考える。 同じ時代に生まれても国によって子どものおかれている環境は様々であることを知る。	説明文の相違点に着目して読むように伝え、考えさせる。 生まれた国によって、子どもたちの環境は様々であることについて写真を見ながら説明する。	
8分	子どもの権利条約について	子どもの権利条約の理念について理解する。	世界中の子どもたちのために世界共通の条約があることを伝え、内容をいくつか紹介する。	子どもの権利条約の理念を理解している。 【知識・理解】 (プリント)
25分	子どもが安心して暮らせる社会とは？	自由・友達・お金・愛情・健康と安全・平和・安心な住まい・遊び・その他の中から、子どもが子どもらしく、安心して暮らせる社会に必要なものを5つ選び、優先順位をつけ、「自分の考え」欄に記入する。 自分の考えを発表し、他の人の考えを知る。 黒板に提示されたもの、もしくは友達の書いたものを見せてもらい、「他の人の考え」欄に記入する。	条件を書いたパネルを準備し書き方を説明する。 プリントにある条件以外に必要なと思われる条件があれば、その他として自分で考えて書いてもよいことを伝える。 ほぼ全員が書けた時点で、何人かの生徒を指名し、発表してもらおう。 「他の人の考え」も書き写すよう指示する。	
		自分が1位をつけた条件について、その理由を考える。 自分の考えを発表し、他の人の考えを知る。(発表は指名された生徒のみ)	ダイヤモンドランキングの表を360°回転させるよう指示しながら、人によって価値観は違い、絶対的な価値はないことを伝える。 「人によって条件が違うのはどうしてだろうか？」と問いかけ、自分が1位をつけた条件についてその理由を考えさせる。 机間指導しながらそれぞれの生徒の価値観を尊重し、考えが深まるよう声かけをする。 ほぼ全員が書けた時点で、何人かの生徒を指名し、発表してもらおう。 条件ごとに理由がわかるよう工夫して板書する。	子どもが子どもらしく、安心して生き、育つ社会に大切なものは何かについて考えを深めている。 【思考・判断】 (観察・プリント)
7分	まとめ	スライドを再度見る。 全ての子どもは幸せになる権利を持って生まれ、大人はそのような社会をつくる責任があることを確認する。 ダイヤモンドランキングを作成しての感想、及び他の人の考えを聞いての感想を書く。	子どもたちが幸せに暮らす社会のために自分にできることについて、今後の人生の中でも考えて欲しいということを伝える。	